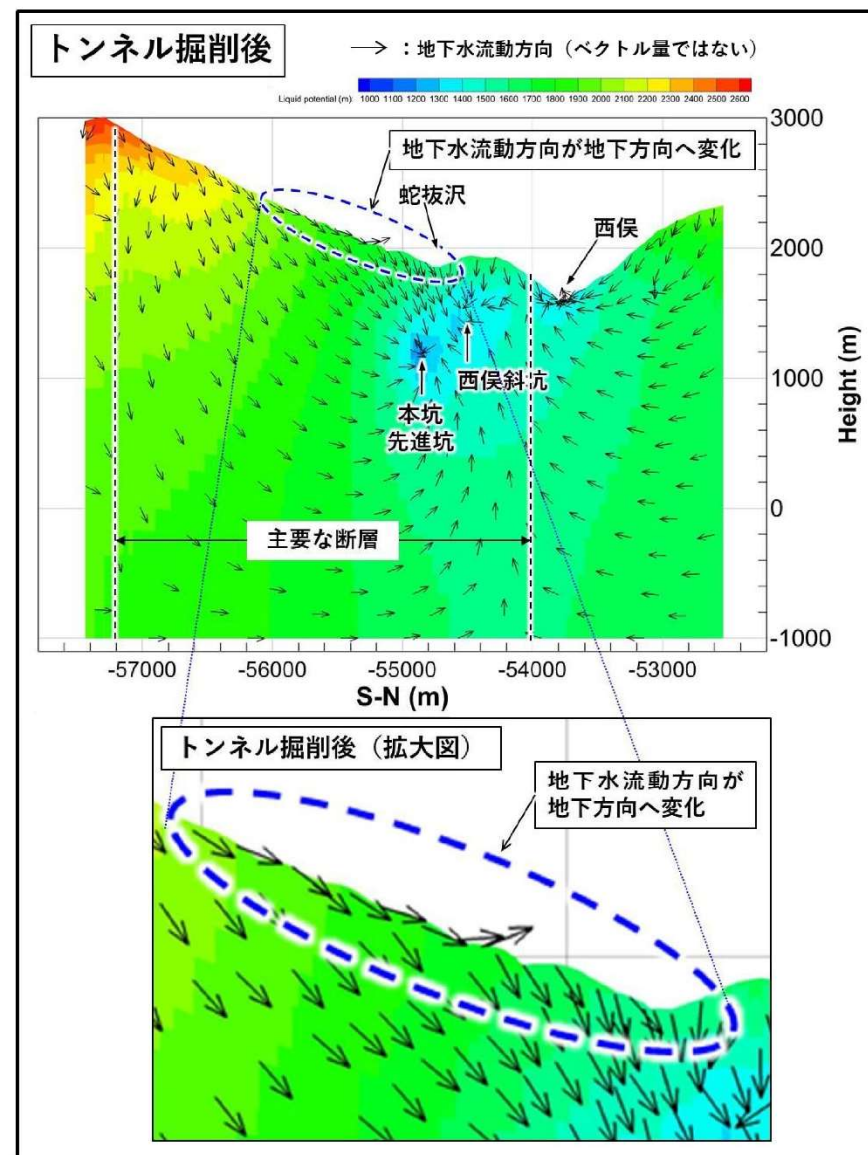
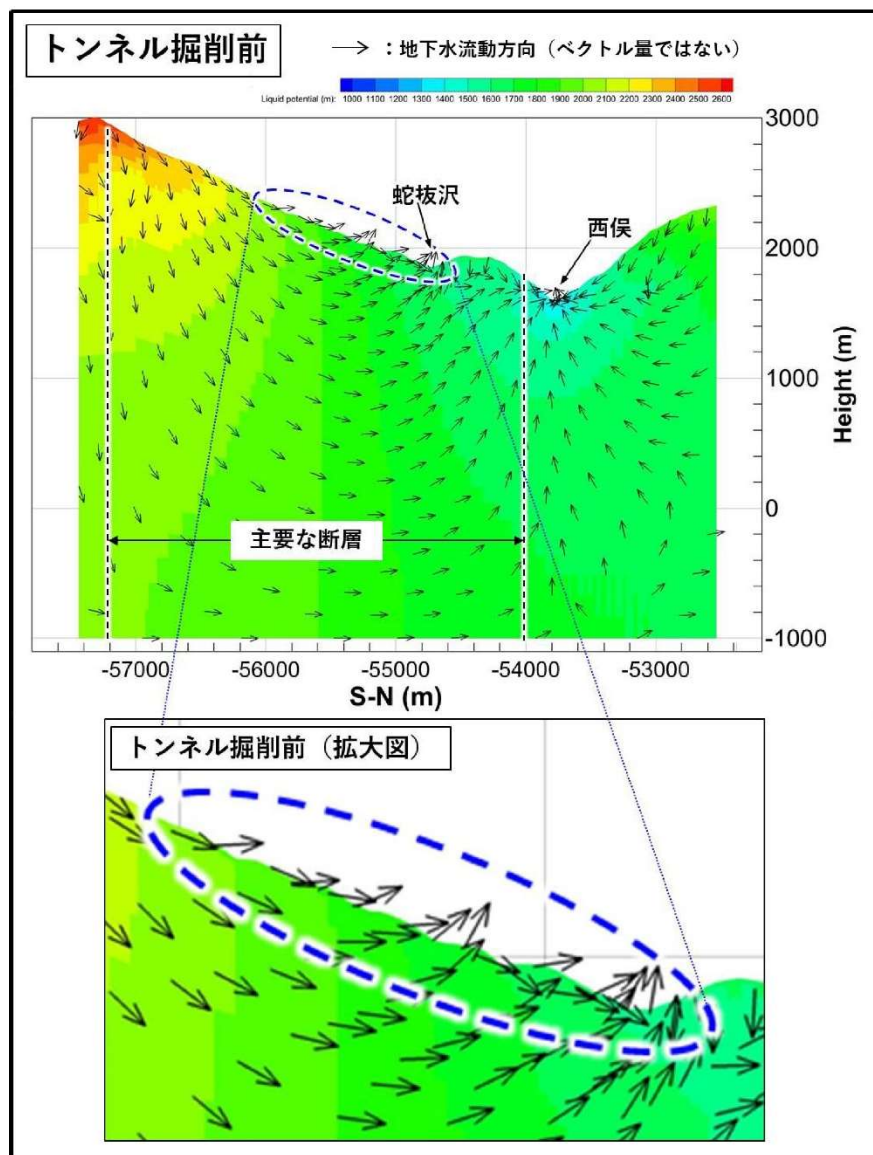
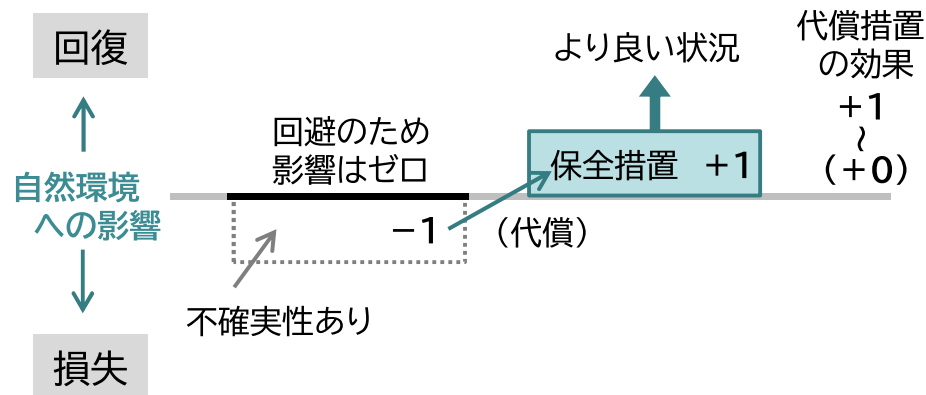




蛇抜沢周辺の全水頭分布と地下水流動方向の変化(定常解析)

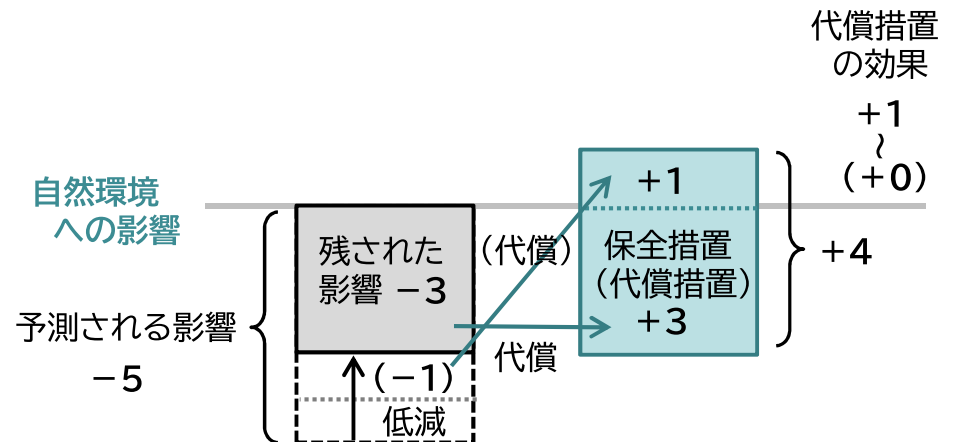
「回避」の場合

想定どおり回避できれば、
保全措置分の+1が発生。



回避を想定しているが、仮に(-1)の損失が発生した場合でも、あらかじめ+1の代償措置ができるようにしておくことで対処できる。

「低減」の場合



低減努力をし、影響が(-3)生じると想定しているが、仮に(-3)+(-1)の影響が発生した場合でも、あらかじめ+4の代償措置ができるようにしておくことで対処できる。

重要な種である「ヤマトイワナ」の場合

時 間	現 在	未 来	
トンネル掘削	without（無し）		with（有り）
生息数	ニッコウイワナとの遺伝子の交雑	交雑が進行し、ヤマトイワナ生息数減少	流量減少に伴う生息域の減少
対 策	十分な対策が行われていない		・ 交雑の防止 ・ 生息環境の保全など

without ①

with ②

① ← ②
 代償措置として
 有用かつ
 機能する